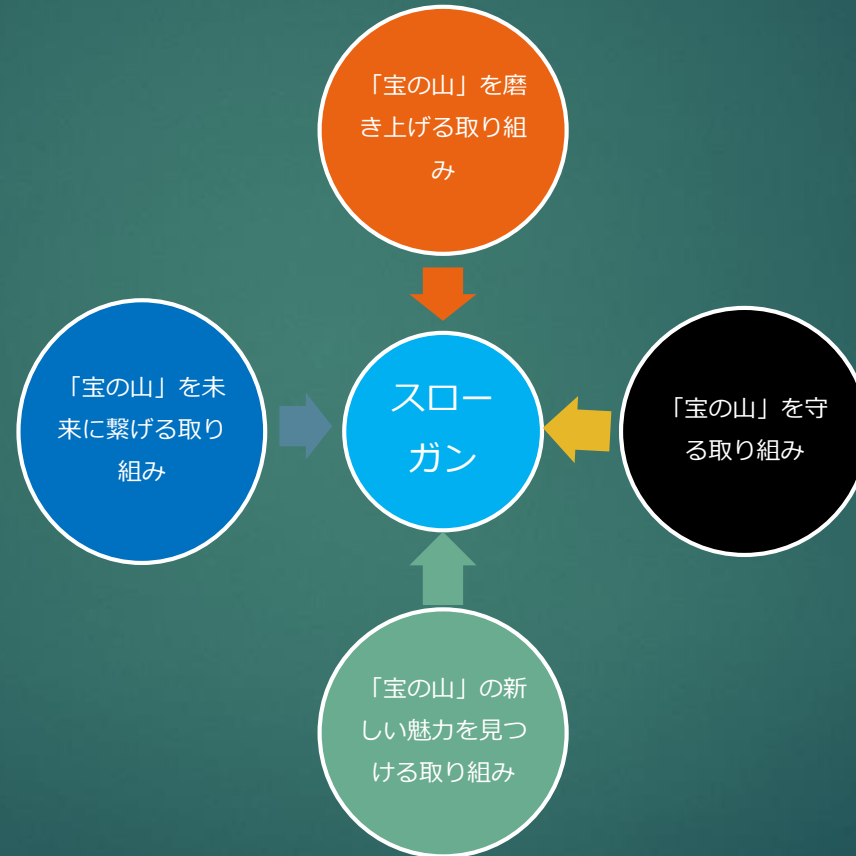


森林利活用ビジョン (素案)

福島県 柳津町

柳津町森林利活用ビジョンの構造



柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン案

- ・未来に活かす「宝の山」柳津の山
- ・みらいに活かす「宝（やないづ）の山」

「宝の山」を未
来に繋げる取り
組み

「宝の山」を磨
き上げる取り組
み

「宝の山」を守
る取り組み

「宝の山」の新
しい魅力を見つ
ける取り組み

柳津町森林利活用ビジョンに込めた思い（案）

- ▶ 柳津町森林利活用ビジョンにおける50年後にあるべき森林の姿は「みらいに活かす「宝の山」 柳津の山」と決めました。
- ▶ 森林利活用ビジョン検討会においては様々な意見がありましたが、その中には過去に取り組んできた植樹から始まる森林整備は「将来世代に財産を残してあげたい」という強い思いを持ってやってきたという意見がありました。
- ▶ 自分の子孫に財産を残してあげたい、宝を残してあげたいという思いは大変尊く、町の森林のあるべき姿に組み込むべきだと考え、今は材の値段が低く価値のない山とみなされていたとしても、将来世代に向けて「宝の山」にして繋いでいくという思いを言葉にしました。
- ▶ 会津人ならだれでも知っている民謡「会津磐梯山」には「会津磐梯山は宝の山よ」という歌詞が出てきます。会津磐梯山に広がる森林の恵みに対する感謝と山や森林への誇りが込められた一節にあやかり、柳津町の山とそこに広がる森林全てが「宝の山」として感謝され、誇りに思われることを祈念してビジョンの文言としました。
- ▶ また、柳津町にとっては旧柳津村と旧西山村の合併の際、100年杉が多くある大成沢や四ツ谷魚留の旧西山村村有林を「宝の山」として受け取ったという歴史があり、柳津町にとってもこれらの町有林は「宝の山」として活かしていきたいという思いもあります。

柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン

「宝の山」を未来に
繋げる取り組み

「宝の山」を磨き上
げる取り組み

「宝の山」を守る取
り組み

「宝の山」の新しい
魅力を見つける取
組み

森林の境界明確化
所有者の意欲向上
木を伐る達人後継者育成

森林整備の推進
林道整備の推進

鳥獣と共生できる森づくり

観光に資する森づくり
森林環境学習の推進

柳津町森林利活用ビジョンの構造



柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン

「宝の山」を未来に繋げる取り組み

森林の境界明確化

所有者の意欲向上

「木を伐る達人」後継者育成

森林利活用ビジョン運営事業

森林境界明確化事業

森林経営管理制度

認可地縁団体活用推進事業

経営計画作成推進事業

「木を伐る達人」後継者育成
事業（地域おこし協力隊等の
活用）

森林利活用ビジョン運営事業※森林環境譲与税活用

- 柳津町森林利活用ビジョンを策定した後、年1回を目安にビジョンに掲げた事業の進捗状況確認とアクションプランの点検を行う運営会議を実施します。
- 運営会議はビジョン作成検討会を基本として組織し、運営会議の運用は外部委託します。
- また、町内外に森林利活用ビジョンの広報周知を図るため、継続的なイベントを開催し、委託内容に含めます。

森林境界明確化事業※森林環境譲与税活用

- 柳津町の森林は国土調査が終わっておらず、森林所有者にとって自分の森林がどこにあるのかわからないという大きな問題があります。
- 国土調査は所有者の合意形成が難しく、あまり進んでいないのが現状なので、森林境界保全図という航空レーザー測量データと現地測量による補正を加えた図面で1/4条地図と同等の精度の図面を作成し、所有者の同意を得た上で確定させていく事業です。

森林経営管理制度※森林環境譲与税活用（条件付き）

- 森林境界明確化準備事業において作成された施業可能箇所林班において森林経営管理制度を進めて行くための準備を行います。但し、柳津町においては森林境界明確化の後でないという意味がないため、森林境界明確化事業の後に進めて行くこととします。

認可地縁団体活用推進事業

- 柳津町には地区共有林が数多く存在するため、今後共有林が有効活用できるよう、認可地縁団体制度の周知等を行っていきます。

経営計画作成推進事業※森林環境譲与税活用

- 現在、県の造林補助金を受けたり、Jクレジットの創出のためにも経営計画の作成が必要となっています。
- 町民が所有する森林の経営計画を作成できるよう、講演会や相談会等を企画します。とりわけ、ふくしま森林再生事業等で既に整備がなされた森林を中心に進めて行けるようにします。
- また、町で既に進めている航空レーザー測量成果を活用した路網整備シミュレーションや収益シミュレーション等ICT新技術導入を検討します。

「木を伐る達人」後継者育成事業（地域おこし協力隊等の活用）

- 柳津町の林業事業体は個人事業主が主体であり、またその高齢化も進んでいます。柳津町の森林は急傾斜地も多く、大規模な施業が向いているところが少ないため、小規模事業者ながらも確かな腕を持つ「木を伐る達人」を育成していく必要があります。
- そのため、若い方に「木を伐る達人」として就業してもらえるようPR等に努めるとともに、地域おこし協力隊等の制度を活用します。

柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン

「宝の山」を磨き上げる取り組み

森林整備の推進

林道整備の推進

町有林管理事業

国庫補助金を活用した森林整備
事業

林道維持管理事業

町有林管理事業※森林環境譲与税活用

- 町有林は柳津町民の財産であり、有効活用が求められています。
- 森林の公益的機能の発揮や、町有林でのJクレジット創出、民有林との協調出荷を図るためにも計画的な町有林での皆伐・間伐出荷は必要だと考えられます。
- 一方、町有林においては境界明確化ができていない個所も多いため、県補助金等の財源を活用して町有林の境界明確化を先行して実施することとします。

国県補助金を活用した森林整備事業

- カシノキナガキクイムシ生息域の拡大等もあり、柳津町のコナラ・ミズナラには深刻な被害があります。また、原発事故による放射性物質対策として、キノコ原木となるコナラやミズナラの天然更新・萌芽更新が重要です。
- 県の補助金を活用し、広葉樹林再生事業を実施可能性を模索します。

林道維持管理事業※森林環境譲与税活用

- 柳津町には多くの林道があり、高規格な林道も整備されています。計画的な修繕・整備を行えるようにします。

柳津町の公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針

- 柳津町では当該基本方針を策定しているため、町の公共建築物の整備の際に町産材が使えるよう分離発注等の制度周知を図ります。

柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン

「宝の山」を守る取り組み

鳥獣と共生できる森づくり

森林緩衝帯整備事業

県民参画の推進事業

森林緩衝帯整備事業（県補助金）

- 県の森林環境交付金を活用し、地域で鳥獣対策として森林の除間伐、刈り払いを行いたいという地区の要望を集め、調査を行った上で整備を実施しています。
- 今後も緩衝帯整備を進め、地域ぐるみの対策を補助していきます。

クマと共生できる森づくり（県民参画の推進（県補助金））

- クマの好むミズナラはカシノキナガキクイムシ被害により多くが枯れてしまい、ドングリが不作となっています。また、ミズナラ材はウイスキー樽や建材等多様な需要があるため、ミズナラの植林を実施していき、クマと共生する森づくりを推進します。

里山林整備事業の周知

- 県で補助を行っている地域主体での里山林整備について、町として周知を行い、地域主体での緩衝帯整備・里山の整備を後押しします。

柳津町森林利活用ビジョンの構造

スローガン

「宝の山」の新しい魅力を見つける取り組み

観光に資する森づくり

森林環境学習の推進

里山のシンボル、森林公園再整備事業

景観整備事業

森林環境学習事業

里山のシンボル、森林公園再整備事業

- 柳津町の森林公園は、林道・実証実験林も併設された大規模な施設となっています。
- 一方で鳥獣被害等により、キャンプでの利用客の減少、施設の老朽化など多くの課題を抱えています。
- そのため、森林公園のエリアを見直し、残すべきところは残し、返すべきところは返し、新たに里山のシンボルとして修景等を行い、薪づくりや炭づくり、キノコ体験等里山の暮らし体験を行える体験型施設を検討していきます。なお、その際の森林公園デザインや森林整備については県森林環境交付金基金を活用して行います。

景観整備事業※森林環境譲与税活用

- 柳津町は観光業が発達し、多くの方に来町していただいています。
- より良い景色を楽しんでいただけるよう、注目の集まるJR只見線沿線や国定公園に編入された只見川周辺において景観を整備したいという地区要望を受け付け、その要望を審査したうえで整備を実施する事業を行います。

森林環境学習・県民参画の推進

- 柳津町ではほぼすべての小中学生に森林環境学習を実施しており、この継続を実施します。また、イベントにおいてウッドチェンジ等の意識醸成を図ります。その財源としては、県森林環境交付金を活用します。

奥会津ビジターセンターとの連携

- 柳津町は越後三山只見国定公園の玄関口として奥会津ビジターセンターが置かれており、国定公園のPRを実施しています。
- 奥会津ビジターセンターと連携し、柳津町の森林についてのPR等を行っていきます。

資料編

- ▶ これまでの検討会から出た意見について、次ページから掲載いたします。

スローガン

森林の維持・管理の基盤

針葉樹・広葉樹の林業的利用

安全・安心な森林づくり・里づくり

観光等への利用

1. 森林のゾーニング

2. 境界の明確化

3. 森林の回地化

1. 既存のスギ林の林業的利用と再造林等

2. 技術的な工夫

3. 仕組みの工夫

4. 担い手の育成

5. グローバルな視点

6. 会津のスギ材のウィークポイント

1. 野生鳥獣（特にツキノワグマ対策）

2. 森林害虫：炭焼きがあつたので害虫がいなかったのでは？

3. 森林の癒やし効果

4. 道路と森林整備は一体

5. 急傾斜地対策

1. 森林公園の活用

2. 既存の観光資源の魅力を高める森林整備

3. 只見線沿線の森林整備

4. きこの収穫体験・栽培体験

5. 企業の環境投資を呼び込み

6. 既存施設（インフラ）の活用

7. 修景伐採

8. そば祭り

9. 桜並木を植えた人が幾人もいる

10. 子どもの体験の場

11. ごども、若者、中年、老年、男女それぞれが何を望んでいるのか

12. インバウンド

13. 一億円の家

14. 景観の回復

15. 奥会津の魅力はたくさんある

森林の維持・管理の基盤

1. 森林のゾーニング

2. 境界の明確化

3. 森林の団地化

柳津町森林整備計画

境界明確化委託事業

境界明確化委託事業

森林経営計画

森林経営管理制度

認可地縁団体

安全・安心な森林づくり・里づくり

1. 野生鳥獣（特にツキノワグマ対策）

2. 森林害虫：炭焼きがあったので害虫がいなかったのでは？

3. 森林の癒やし効果

4. 道路と森林整備は一体

5. 急傾斜地対策

(1) 柿・栗等（食餌木）の除去

(2) 森林緩衝帯整備

(1) ナラ枯れ防除

(1) 町民の健康の維持・増進

(2) 登山：女性、こども

(3) 安心して入れる里山

(1) 森林整備＝道路整備

(2) 森林の中を道路が走る

ア. カシナガ対策

イ. ミズナラを植える事業：森林の若返り

ア. 明るい森林

イ. モデル地域

ウ. アトラクション

